



読字 故 原 田 親

No. 698

2013/4/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区湯島
西新1-1-1 日中ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒720-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:086(272)-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8511
倉敷市連島中央4-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rzhong.biz/>
メールアドレス
rzhong86@hotmail.co.jp



憲法への思いを語ろう！

憲法とともに歩む人生（その5）

一 国民の不断の努力によって「十二条」

はじめに

前々号で勝山高校2年間の

高校生部活研究活動を紹介した。部落問題の学習にとどまらず校内の民主化、地域の人々との交流や全県の高校生部活研究活動への参加について述べた。こうした私の教育実践と職員会議での発言、組合活動への参加などについて管理職は、どのように見ていたのでしょうか。

転勤の打診

二年目の三学期末に校長から、県南の定時制高校に転勤しないかと言われた。私は、まだ担任をしていないし、高校生部活研究活動も同好会から部活になり、これからというときなので転勤する気はないと断った。

数日後校長は、私の母校である岡山南高校の校長と面接するようにいった。これは職務命令であると付け加えた。南

校の校長に会い前述のような理由で転勤したくないと話した。

立花先生との出会い

この間、勝山高校の分会役員に相談したが、出身地の県南への話なので不当人事とは、いい難いという判断であった。

私は、岡山高教組本部へ訴えた。対応した人事担当は、当時副委員長の立花先生であった。

先生は、私の話をよく聞きわかった、県に校長を指導するように申し入れる。「最後に心配しないでいい、今後も何かあったら本部に連絡するように」と言われた。私はホッとした。

一方地元の勝山では、高校生部活研の生徒やその保護者が、転勤させないようにと校長に申し入れてくれた。私の生徒とともに勝山高校で教育活動をしたという固い決意と、組合本部、生徒、保護者の支援で転勤はとまった。

部落研活動への

弾圧とたたかい

一九六四年十一月、京都市で第一回全国高校生部落問題研究集会が開催され、岡山県からも数人の高校生が参加した。六五年から六六年にかけて

県下で高校生の部落問題研究サークルが誕生し始めた。このサークルを指導援助したのが、戦後の憲法・教育基本法にも

とづく民主主義教育を受け、大学時代に部落研活動や学生自治会運動に加わっていた二〇代から三〇代前半の青年教師であった。

私もその一人である。こうした動きに対して、差別・選別の中教審路線を推進する

県教委は、部落研活動に参加する生徒や指導する教師に対して

してさまざまな圧力や弾圧をかけた、その代表的な例が一九六六年八月の 児島一高社研事件（※）である。私への転勤話もこうした流れのひとつであった。

日本国憲法は、九十七条でこの憲法が日本国民に保障する基本的

人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつて……と述べ、十二条で「の憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。……と書いて

いる。戦つてこそ権利は生かされ、国民のものになる。

小林軍治 ※お盆休みを利用して社研部の合宿を計画し実践した顧問教師と生徒に対する企業と一体となった県教委の弾圧事件

私もその一人である。こうした動きに対して、差別・選別・中教審路線を推進する県教委は、部落研活動に参加する生徒や指導する教師に対して

春ーお茶とうたの集い

初めての「茶の湯」体験

去る三月十日（日）昨年引き続き、春の集いを行いました。まらしき健康福祉プラザの和室と調理室をお借りし、二部構成のイベントとなりました。

第一部は、茶道体験コーナー（九時三十分～十一時三十分）。第二部は、楽しく遊ぼうコーナー（一時～三時）

一部と二部の間がお食事会。熱々の 水餃子と ひるぜんお

こわ」を食べながら、自己紹介と交流。総社日本語教室の方々も加わり盛り上がりました。日本語を学んでいる人は、日本語で話しました。

参加者の中にこの日が七十一歳の誕生日を迎えられた方、奇しくもお二人も。祝福し、ささやかな記念品を贈りました。

一部では、裏千家流、林宗哲先生より日本の伝統文化としての「茶道」についての講話。また、ふくさや懐紙、扇子等の使い方の作法を教わり、実際に茶筌を使つてお茶をたてて頂きました。

二部では、昨年と同様にエレキギターの伴奏で、日本や中国のうたの合唱。今年も、さらに「さん」の厚意により、テナーサクスの演奏を聴くことができました。煙が目にしみる「やここに幸あり」などの懐かしい曲でした。

後は、ビンゴゲームでヒートアップ。お開きとなりました。

特筆すべきは、昨年の倍の二十四人の参加を得たこと、受講生が主体的に準備に関わったこと、二十代の三世が参加してくれたことである。明日につながる集いとなりました。

山縣武次郎

山縣武次郎

山縣武次郎

山縣武次郎

山縣武次郎



十八歳の春 東京大空襲に



竹内和夫さん

東京大空襲にあったのは、東京外事専門学校(現東京外語大学)一年十八歳の早春のこと

でした。その頃、兄は中国北部に出征、姉は嫁いで家を出ており、母、祖母、弟妹六人は茨城県に疎開、東京亀戸の自宅にいたのは父とぼく、ぼくに続く妹二人の四人でした。

一九四五年三月十日零時すぎ、父の「空襲だ」の声におこされたとき、すでに隣家は燃えはじめ、おとり身支度を整えて家を出るのがやっとでした。雨の

ように降る焼夷弾から次々と火の手が上がり、近所の人たちと一緒に、がむしゃらに消火を試みたのですが、防火井戸もすぐにかれてしまい全く無駄なことでした。

その間に家族はバラバラになつてしまい、ぼくは火の中を逃げ回ったあと、ようやく共同防空壕に入りました。入り口近くにいたので外からの熱に耐えきれず、そこも飛び出して火の回つていない線路の土手にあがり、疲れたてて眠りこんでいたのですが、気がつくまで飛んで来た火の粉で下着まで焦げはじめていました。防空壕に残っていた人たちは、奥の方にかたまるとして亡くなつてい

ました。

家族と再会できたのは、翌朝

我が家の焼け跡にもどつてからでした。家族四人がたいしたケガもなく生きのびられたのは運がよかつたときかいいいようのないことでした。小学校の同級生の約半数がその夜の空襲で亡くなり、近所では女の人や子どもたちがたくさん亡くなりました。男の人は徴用で工場に寝とまりして助かった人が多かつたようです。帰ってきたお父さんたちが家族を掘り出すのを泣き泣き手伝いましたが、すべてが無我夢中の間に過ぎたで

きことでした。大空襲のあとも、ぼくたちは戦争に負けるとはみじんも思いませんでした。東京外事専門学校の丸焼けになり、生徒たちは東京北区のジラルミン工場

で勤労奉仕に従事しました。軍事教練は続ききょうから貴様たちは陸軍二等兵だ」と教官の戦意は衰えず、ぼくたち自身も戦い続けることしか考えていませんでした。

当時多くの家庭がそうだったように、ぼくの家族も天皇は神様「戦争は大東亜共栄圏の平和のため」と信じて、疑うことはありませんでした。戦争が激しくなるなか、家業の質屋の仕事は減り、父親は徴用に動員されることもあり、家族全員で支えあうつましい暮らしでした。大晦日だけは質草を受け出すお客さんが押しかけて大忙しになり、ぼくも自転車で走りまわって家業を助けました。新聞やラジオは毎日、戦果を伝えるものばかり。教育勅語を覚えこみ、兵隊に憧れ、戦争

で遊ぶながら育てていました。進学の際、モンゴル語を選んだ理由のひとつにも、大東亜共栄圏のために役立ちたいという気持ちがあり、ゆくゆくは戦地に赴いて死んでもいいという覚悟もありました。

戦争を批判し、負けることを予測していた立派な人たちが、ぼくの回りで出会うことはなく、戦況の事実を知らされることも皆無でした。

戦後、苦労して東大の言語学科を卒業したあと、都内の中学校の英語教師になりました。ぼくが自分自身の考えかたや、批判的な物の見かたを養ったのはそれからでした。当時の教職員組合は「教え子をつたえ」の目標のもとに校長、教頭まで一体になつ

て、大きく盛りあがっており、そのなかで、ぼくは心から尊敬する友人と同時に多くの真実を得ることができました。そのころ関わりはじめた反戦と平和の活動が、岡大の教授を退職した今、ぼくの中心の課題となつて、退職以前より忙しくしています。

年度末にあたり

御協力ありがとうございます

会計係(竹内)から

会計年度の最後の月に入つて、予算との差が大きいことがわかりました。収入面で普通会費が約10万円不足、準会費が27万円不足です。本部への支払いも、まだできておりません。一大事とばかり3月7日に請求書を80通以上書いて、年度をこえて、4月以降も前納を呼びかけました。うれしいことに、半数以上の方々からご協力をいただき、本部への支払いも可能となり、決算書を用意するところまでこぎつけました。ありがとうございます。

3月25日記

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか? 43

竹内和夫

憂鬱



ニホン語はむずかしい? (1)

- A: ひとりの人間の脳には大きなビルぐらいのコンピューターひとつ分の力があるといわれるが、頭がいいとか、わるいとかは、どうなの?
- B: すべての物は同じではない。それぞれ特性をもっていると思う。たとえば文系とか理系とか、芸術系とかいうけれど、育ち方がちがいにいるんじゃないか。
- C: 天才はいないんだ。いや、みんな天才なんじゃない?
- A: ところで、むずかしいとか、やさしいとかの基準はあるの? $1+2=3$ はやさしいけど $X+Y=Z$ はむずかしいのかな? $X=1$ 、 $Y=2$ 、 $Z=3$ とすれば、おなじことなのに。
- B: 漢字はむずかしいというとき、なにが問題なの? 字のかず? 書きかた? 読みかた? ……
- C: 文字イコール言語ではないから、字の話はよそうか。ことばの基準には使えないから。漢字は5万もあるが、ローマ字なら30ぐらい。
- C: でも、漢字とカナとひらがなを使うからニホン語はむずかしいという人もたくさんいる。
- A: 見たこともないニホンの新聞を、外国にもって行ったら、「わあ、むずかしい!」というにきまつてるよ。絶対に!
- B: 『万葉集』も『古事記』も『日本書紀』も全部漢字だらけだ。1種類だから「やさしい」の? 現代風になおして、ひらがなを入れたら、やさしくなるの? おなじニホン語なのにね。34を見よ。

耳がきこえる赤ちゃんは、世界のどんな親(生みの親、育ての親)の言語も受け入れるから、むずかしいとか、やさしいとか話にならない。誰にとっても、むずかしいのか? 難しいと思いたいのか?

つづく

次の新聞送付作業は
4月12(金)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

小林 竹内和
竹内 和
坪井 和